

地籍調査支援システム

外部データ取り込み後の
基準点路線データ作成マニュアル



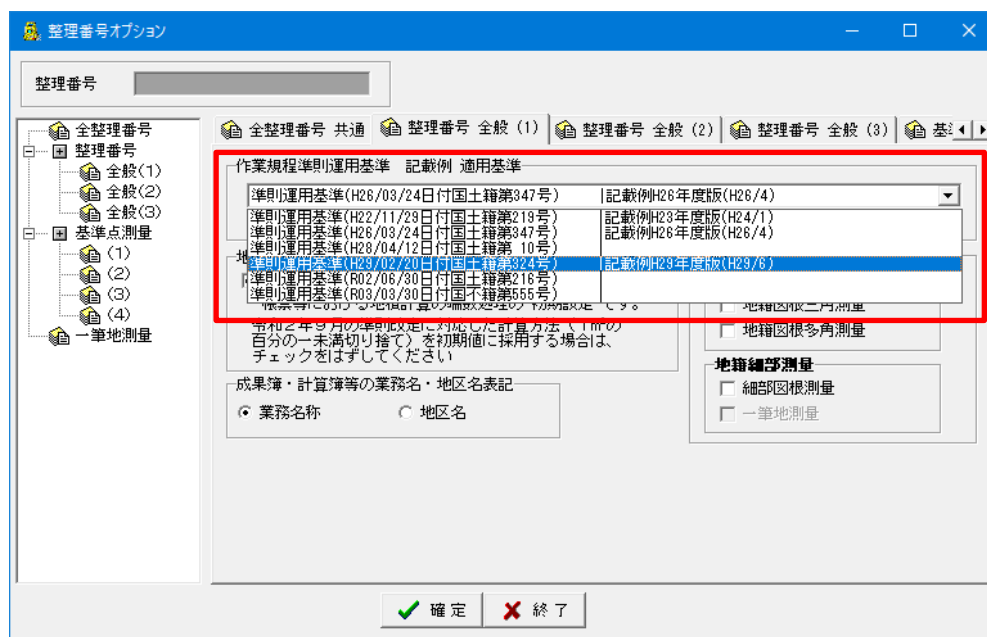
株式会社 上智

① 事前準備※

平成29年度の作業規程準則運用基準の改定に伴い、測量支援システムで取り扱う点名の処理が変更されました。事前に判断可能であれば、取り込み用の整理番号を作成し、点名処理の方法を設定してください。

上部メニューから【保守】－【整理番号オプション】－【整理番号編集に関する設定】を選択

「作業規程準則 | 運用基準 記載例 適用基準」において、平成29年度以降と、それ以前のいずれかを選択し、確定します。



この設定が、外部データの取り込み時の基準点データ路線化に影響します。

具体的な図根多角点名の例（弊社地籍システムの仕様）

	点名	
平成29年度版より以前	A10A10 123-1	図郭と路線番号の間はスペース
平成29年度版～	A10A10-D123-1	「-D」や「-F」の工程を示す文字が含まれる

※ この事前準備は必須ではありません。準備していない場合でも、本マニュアルの操作により作業可能ですので、先へ読み進めていただいてもかまいません。

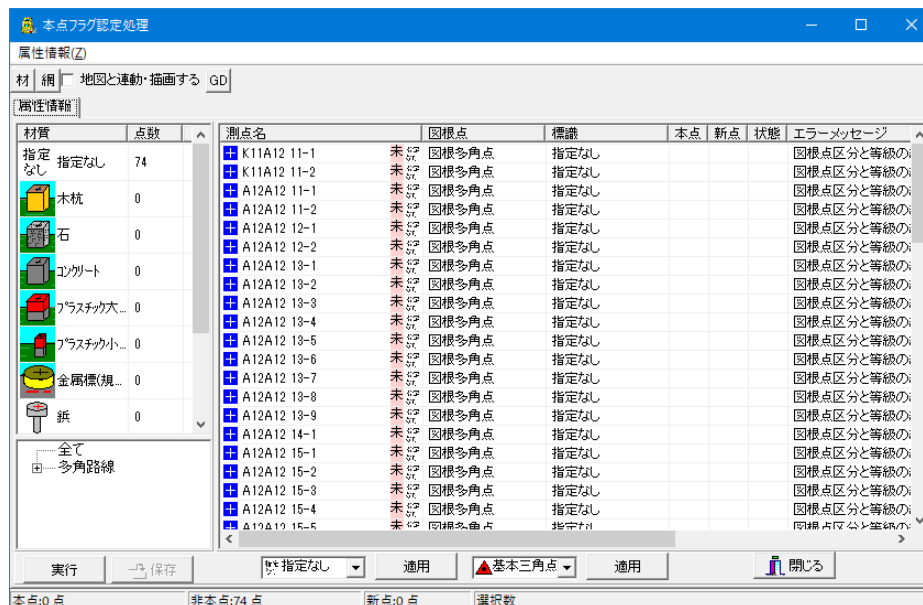
② 外部データのインポート

SIMA フォーマット、地籍フォーマット2000等より、基準点データを取り込みします。
このとき、点名から多角路線を自動で構成します。

③ 図根点種別の更新（1）一括処理

上部メニューから【基準点】－【本点フラグ認定処理】を選択します。

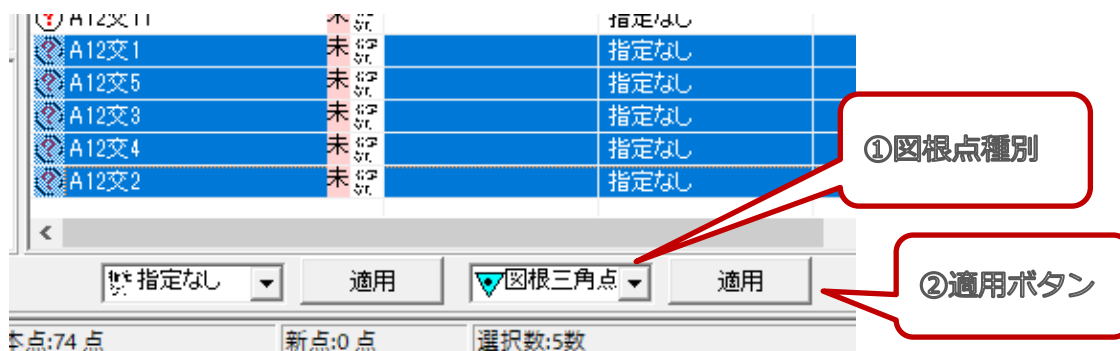
図. 本点フラグ認定処理画面



測点名	図根点	標識	本点	新点	状態	エラーメッセージ
K11A12 11-1	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
K11A12 11-2	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 11-1	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 11-2	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 12-1	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 12-2	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 13-1	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 13-2	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 13-3	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 13-4	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 13-5	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 13-6	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 13-7	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 13-8	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 13-9	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 14-1	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 15-1	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 15-2	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 15-3	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 15-4	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12A12 15-5	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致

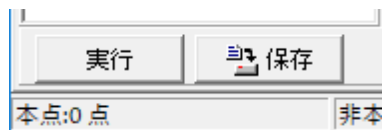
点名によっては、図根点種別が「図根多角点」で編集されている場合があります。

表は、キーボードの Shift キーや Ctrl キーを押しながらマウスの左ボタンをクリックすることで、複数行選択可能です。変更したい範囲を選択（1行でも可）し、画面の下にある①図根点種別を変更してください。②適用ボタン押下で、選択行の図根点種別が変更できます。



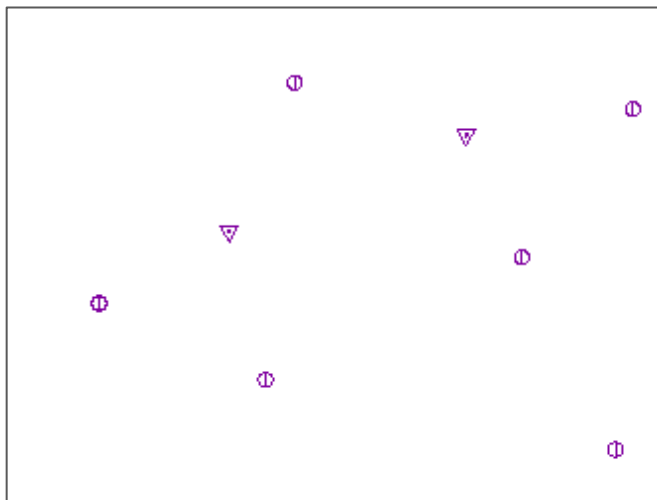
測点名	図根点	標識	本点	新点	状態	エラーメッセージ
A12交1	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12交5	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12交3	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12交4	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致
A12交2	図根多角点	指定なし			未	図根点区分と等級の不一致

最後に、左下の保存ボタン押下で、保存します。



以上で、画面上の基準点記号も変更されます。

図. 基図上の表示例（図根三角点と図根多角点）

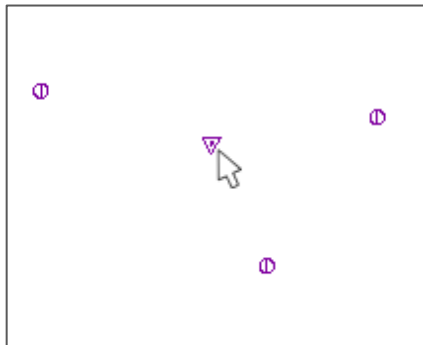


④ 図根点種別の更新（２） 個別処理



右タブから「基準点」を選択し、
赤枠内の「属性変更」ボタンをクリックします。

基図上の基準点をマウスの左ボタンでクリックします。



基準点変更ダイアログが表示されるので、種別を変更してください。

図. 基準点変更

基準点変更

整理番号

54-0271X

既設点

点名

A12A12 110-5

手簿

	X座標(m)	Y座標(m)	標高(m)
公共座標	-14370.385	-48270.816	34.605
等級	兼用		
種別	+ 図根多角点		
埋標	+ 図根多角点		
発生区分	+ 細部図根点		
標高	R3.11.2		
改定	+ 電子基準点		
工程	+ 仮想基準点		
承認	+ 図根三角点(GNSS)		
他	+ 図根多角点(GNSS)		

平成26年4月1日

図根点区分と等

常

確定

取消

図根点種別を選択してください

【確定】ボタン押下で、更新でき、図上の表示も変更されます。

⑤ 多角路線、細部多角路線の一括処理

上部メニューから【基準点】－【簡易網】－【旧方式（平成26年度版以前）】を選択します。

図. 路線選択

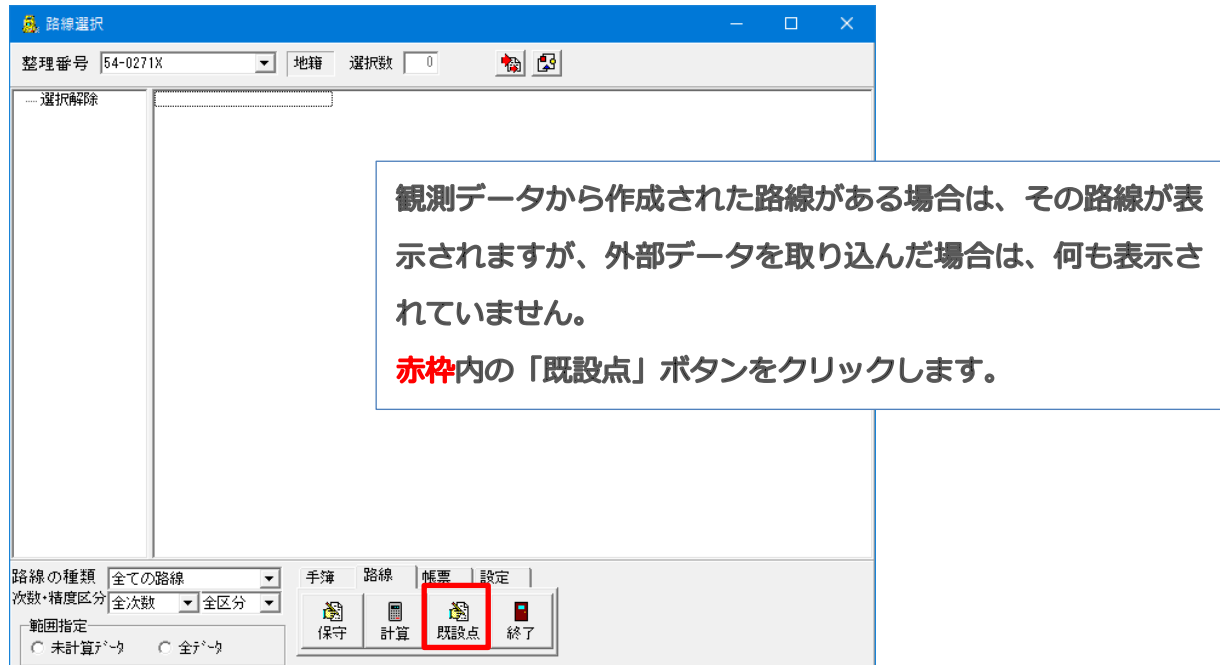
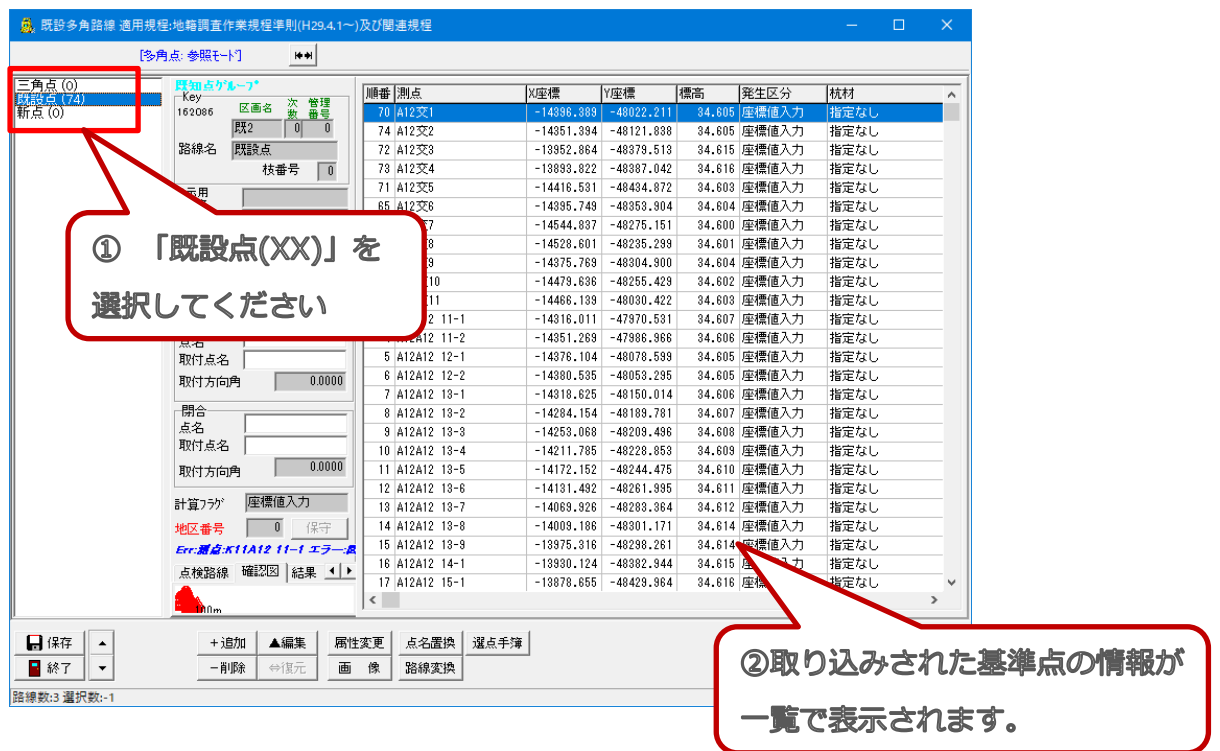


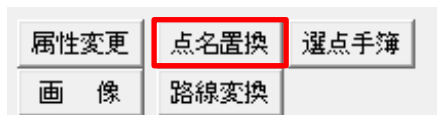
図. 基準点登録状況の確認



【点名の確認と置換】

12	A12A12-11-1	-14316
13	A12A12-11-2	-14357
14	A12A12-12-1	-14376
15	A12A12-12-2	-14377
16	A12A12-13-1	-14378
17	A12A12-13-2	-14379
18	A12A12-13-3	-14380
19	A12A12-13-4	-14381
20	A12A12-13-5	-14382
21	A12A12-13-6	-14383
22	A12A12-13-7	-14068
23	A12A12-13-8	-14008

この点名は、「-D」や「-F」の工程を示す文字が含まれていませんので、古い点名になります。
ただし、弊社地籍システムの仕様の名称ではないため、点名を変換する必要があります。



画面下部のボタンの中から、**赤枠**内の「既設点」ボタンをクリックします。



左側の入力欄には、「A12A12-」とハイフンまで入力

右側の入力欄には、「A12A12 」と、スペースまで入力し、実行ボタンをクリックすると、置換が行われます。

この置換は、一時的な置換になるため、画面左下の**赤枠**内の「保存」をクリックすることで、地図上のデータに反映されます。



【図根多角、細部多角 路線化处理】

属性変更	点名置換	選点手簿
画 像	路線変換	

画面下部のボタンの中から、**赤枠**内の「路線変換」ボタンをクリックします。

既設点の路線化处理

どちらの、認識処理を行うか選択してください。

選択リスト

- ☒ **多角路線化**
- ☐ 放射型細部図根路線化

「多角路線化」を選択し**確定**します。

情報

 16路線、変換を行いました。

路線化が成功すると、成功した件数が表示されます。

既設多角路線 適用規程:地籍調査作業規程準則(H28.4.12~)及び関連規程

[多角点:参照モード]

順番	測点	X座標	Y座標	標高	発生区分	杭材
1	A12交1	-14396.389	-48022.211	34.605	座標値入力	指定なし
2	A12交2	-14351.394	-48121.838	34.605	座標値入力	指定なし
3	A12交3	-13952.864	-48379.513	34.615	座標値入力	指定なし
4	A12交4	-13893.822	-48387.042	34.616	座標値入力	指定なし
5	A12交5	-14416.531	-48434.872	34.603	座標値入力	指定なし
6	A12交6	-14395.749	-48353.904	34.604	座標値入力	指定なし
7	A12交7	-14544.837	-48275.151	34.600	座標値入力	指定なし
8	A12交8	-14528.601	-48235.299	34.601	座標値入力	指定なし
9	A12交9	-14375.769	-48304.900	34.604	座標値入力	指定なし
10	A12交10	-14479.636	-48255.429	34.602	座標値入力	指定なし
11	A12交11	-14486.139	-48030.422	34.603	座標値入力	指定なし

変換直後は、真っ白ですが、作成された路線は、登録されています。
画面左下の終了ボタンで、保存して閉じてください。

路線化に成功した路線がリストに追加されます。



(注意)

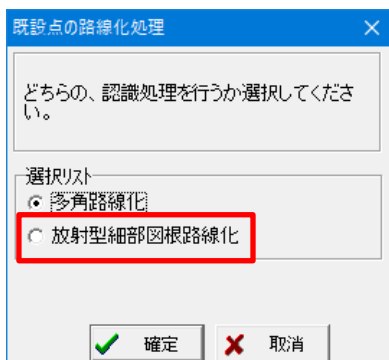
交点～交点のように、節点のない路線は、自動作成できません。

⑥ 放射型細部図根路線の一括処理

点名の仕様が異なりますが、処理自体は図根多角、細部多角の路線化と同じです。

具体的な細部図根点名の例（弊社地籍システムの仕様）

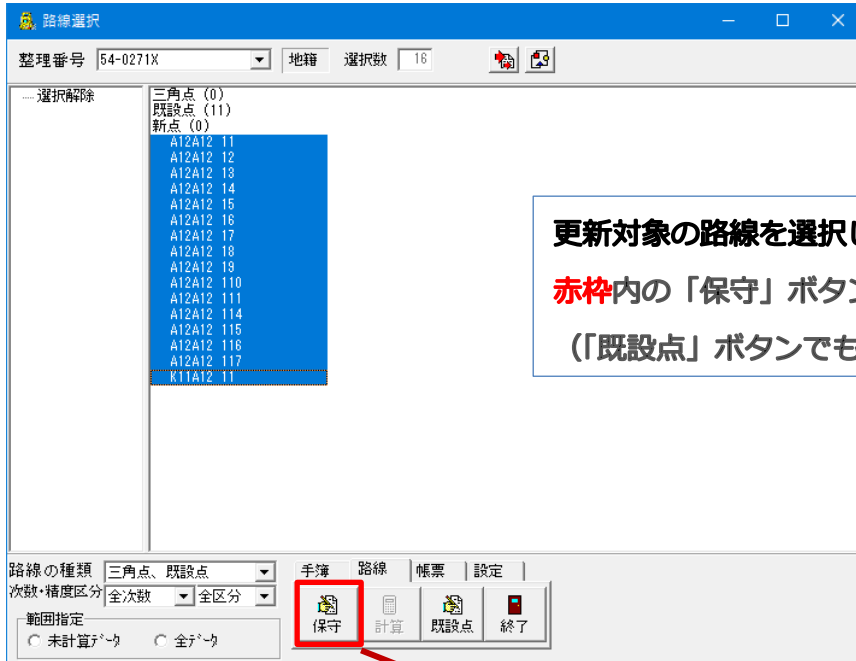
	点名	
平成29年度版より以前	A10A10123-1A	図郭と路線番号の間はスペースがない。
平成29年度版～	A10A10-D123-1A	「-D」や「-F」の工程を示す文字が含まれる



路線化処理時は、

「放射型細部図根路線化」を選択し 確定 します。

⑦ 路線情報の更新



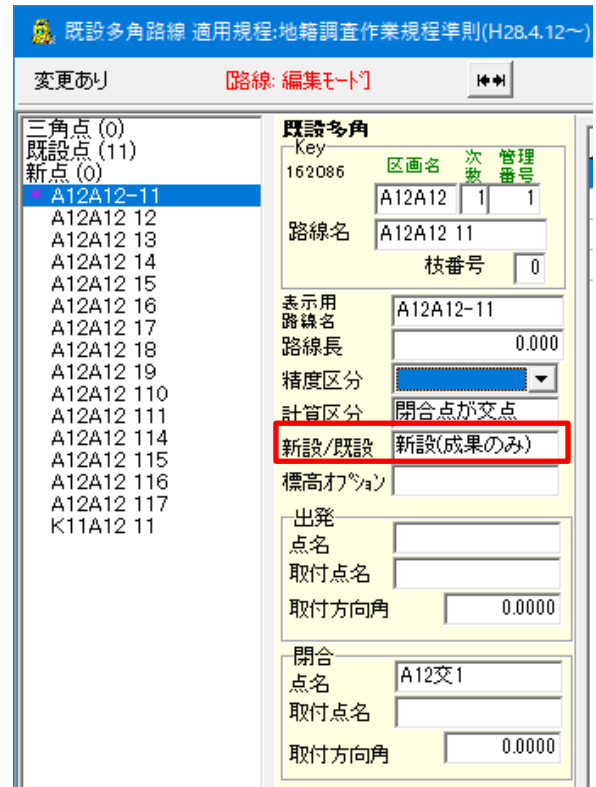
更新対象の路線を選択し、
赤枠内の「保守」ボタンをクリックします。
(「既設点」ボタンでも可)

対象の路線を選択します。

赤枠内の「新設／既設」の状態が「既設」になっているので、「新設（成果のみ）」に変更してください。¹

また、出発点・閉合点は、自動で編集できませんので、手入力の必要があります。

さらに、計算区分で、出発点、閉合点の交点状況の指定が必要です。²



既設多角

Key	区画名	次数	管理番号
162086	A12A12	1	1

路線名: A12A12 11
枝番号: 0

表示用路線名: A12A12-11
路線長: 0.000
精度区分: [選択]
計算区分: 閉合点が交点

新設/既設: 新設(成果のみ)

標高オプション

出発
点名: [入力]
取付点名: [入力]
取付方向角: 0.0000

閉合
点名: A12交1
取付点名: [入力]
取付方向角: 0.0000

¹ 多角網図で次数別に色分けする場合は、設定が必須です。

² 設定に誤りがあると、多角網図で出発点・閉合点が既設点として作図される場合があります。

⑧ 路線情報の確認

基図上で、路線の構成状況を確認することができます。

トランザクション	
独占編集	
変更	結線 点名 強調
1/500	BLK 観測 基点
細部: mm	色塗 孤立

画面右下にある、強調表示ボタンを参照

赤枠内の「基点」ボタンをクリックします。

図上の基準点シンボルの上方に、点名が表示されます。

A12A12 110-5 A12A12 110-4
A12交8
A12A12 114-1

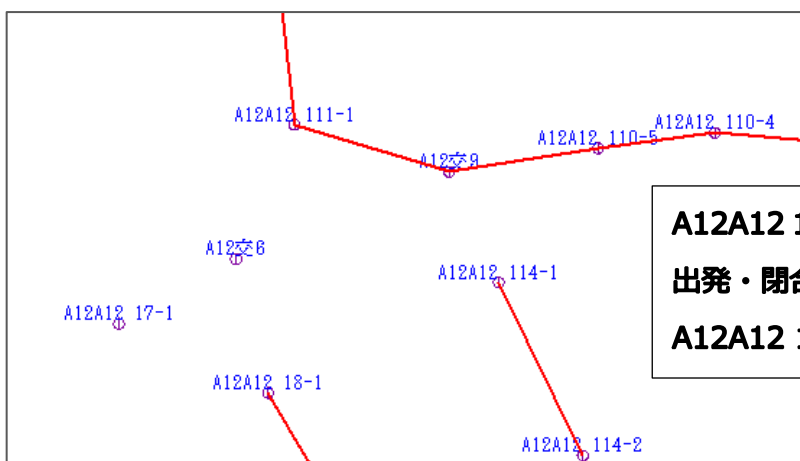
さらに、「基点」ボタンを、右ボタンでクリックすると、追加で表示する情報の選択画面が表示されます。

基準点表示情報を選択してください。

☒ 測点名称	☒ 確定
☐ 標高値(m)	☐ 取消
☐ H26標高改定情報	
☐ 材質(杭材)	
☐ 本点	
☐ 省略工程	
☐ 認定年月・指定年月(承認・助言)番号	
☒ 多角路線網図	☒ 全選択
☐ 図根占区公	☐ 全解除
☐ 等級	
☐ エラーメッセージ	
☐ 新点	
☐ 計算日	

赤枠内の「多角路線網図」にチェックをつけて確定ボタンをクリックします。

基図上で、路線の結線状況が確認できます。

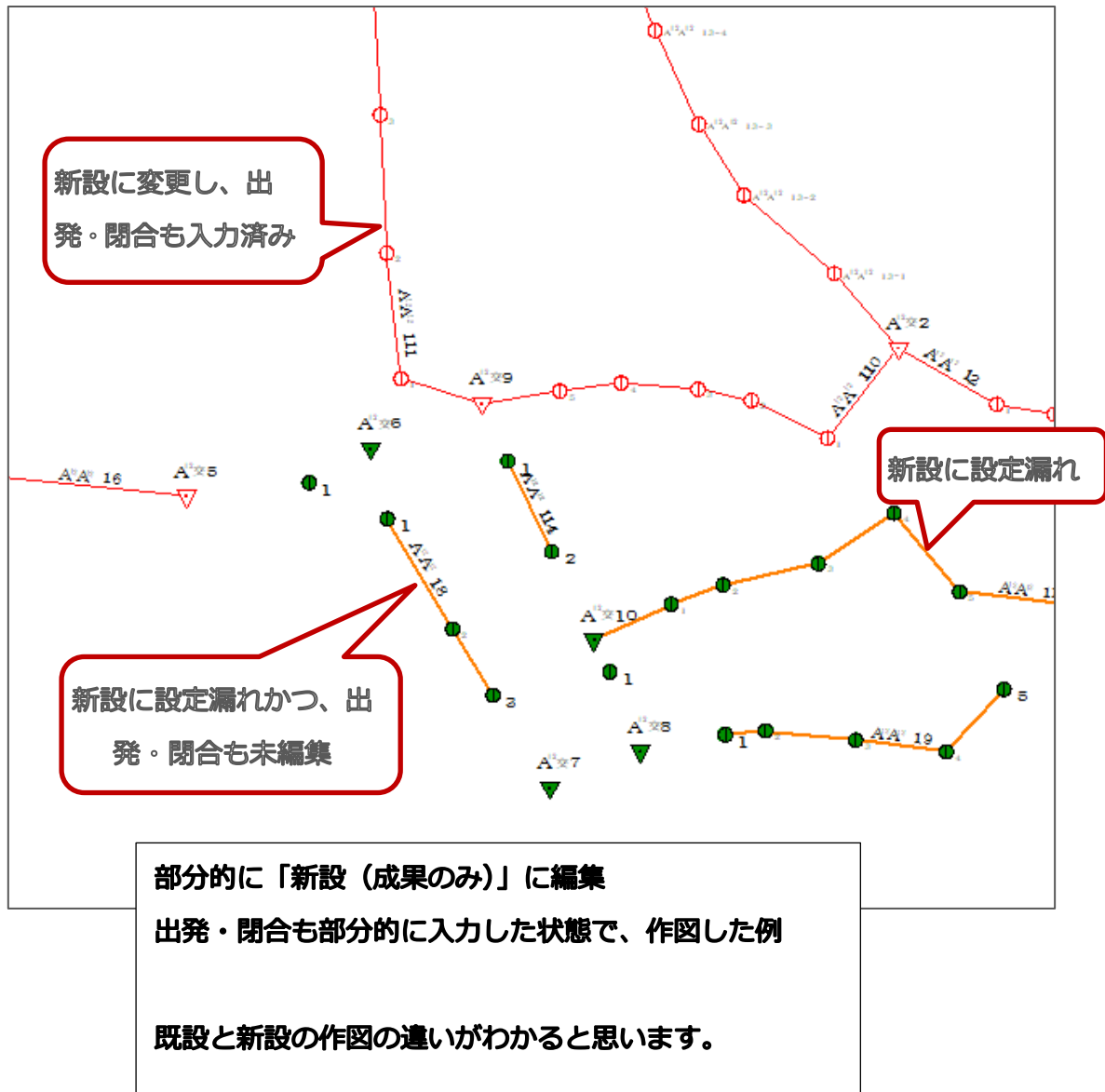


A12A12 111 路線、A12A12 110 路線は、
出発・閉合が入力済みです。
A12A12 114 路線は、未入力です。

⑨ 多角網図の作成

ここでは、成果図の作成方法の説明については割愛。

図. 多角網図作図例



※ 交点同士で、節点のない路線



GEOIST 地籍システム サポート窓口

■受付時間

平日 午前 9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

午後 1 3 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0

(土曜・日曜・祝日及び年末年始等、弊社の休日日は除く)

■お問い合わせ窓口

TEL : (0763) 32-2135

FAX : (0763) 33-2558

URL : <https://www.johchi.co.jp/geoist/>